

多様な防災ニーズに総合コンサルティングで応える

【無電柱化】

2016年に制定された無電柱化の推進に関する法律を受け、全国で無電柱化が推進されています。当社では、従来から電線共同溝設計に積極的に取り組んでおり、ソフト地中化方式や既存ストック活用方式を含む知見と実績を蓄積しています。

これらの知見を活用して、無電柱化基本方針や無電柱化推進計画の策定支援を多数行っており、レーザースキャナ等のICTを活用した現況調査によって実効性の高い優先整備路線の選定などを行っています。さらに、無電柱化推進にあたっての課題の1つである低コスト化の推進に向け、最新の技術・手法を用いたコスト削減の検討や関連技術基準の制定・改定も支援しています。

【土砂災害対策】

近年、集中豪雨等による斜面崩落や土砂災害の発生頻度が高まっています。当社では、これら土砂災害へのハード・ソフト両面の対策について、さまざまな取り組みを行っています。

ハード面では、ドローンやレーザースキャナなどのICTを活用した維持管理に取り組んでおり、砂防堰堤本体の画像点検や堆積土砂の3D計測などを行っています。また、これらの情報を一元管理する砂防施設管理システムを開発し、メンテナンスサイクルの効率化に取り組んでいます。

ソフト面では、ハンディ型レーザースキャナを用いた土砂災害警戒区域の指定にかかわる基礎調査

や、大規模盛土造成地のスクリーニング調査を実施するだけでなく、これらの結果に基づく災害時の避難行動に関するワークショップの開催支援などの減災対策の推進にも取り組んでいます。

【内水氾濫対策】

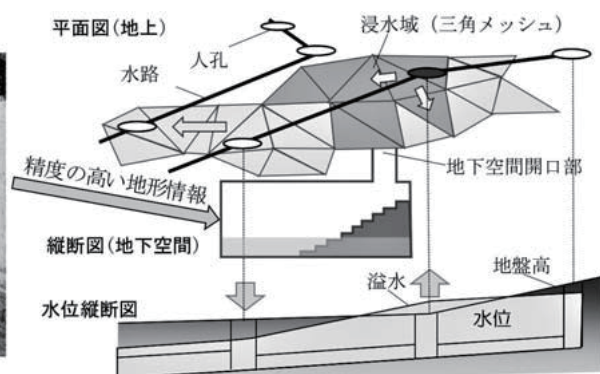
気候変動に伴う台風や豪雨による被害が激甚化しており、全国各地で浸水被害が多発しています。当社では、河川の氾濫（外水氾濫）だけでなく、内水氾濫への対策にも注力しています。

内水氾濫の検討では、地表面モデルの作成精度が非常に重要となるため、航空測量だけでは再現できない浸水が生じる場合があります。このような箇所においては、ハンディ型またはドローン搭載型レーザースキャナを用いて部分的に詳細な微地形情報を取得することで、実際に発生した浸水被害を精度よく再現し、立案する氾濫対策の精度向上に努めています。

雨水対策イメージ



レーザースキャナによる地下空間の地形取得



地上・地下空間の浸水シミュレーションのイメージ図

未来を見据え このまちをささえる

総合建設コンサルタント



株式会社 日本インシーク

持続可能な社会の実現を目指して

日本インシークは総合建設コンサルタントとして、インフラストックを守り、持続可能な社会を実現するサービスを提供します

つくる,測る,考える

幅広い分野の専門の技術者が課題に取り組む、社会資本整備を担う企業として一丸となりインフラの未来をつくる道を提案します。

日々精進し社会に貢献する

設立以来積み重ねてきた実績を活かし、社会の課題解決を使命とし、時代の要求に応え、常に成長を続けます。

